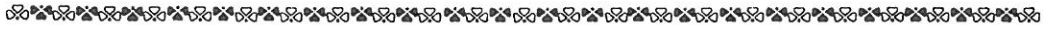


南山大学 図書館報

No. 3 1989.10



図書館と私

かとう やすし
加藤 泰史
(文学部哲学科講師)

高校時代のことから今からもう十数年前の思い出になる。ある日高校の図書館で古色蒼然とした森田草平の『続夏目漱石』を見付けて嬉嬉としていたら、「漫談屋」というあだ名の老英語教師から「めずらしい本を借り出してきたな」と呼び止められたことがあった。それまでは立ち寄りもしなかったので、これが図書館との本格的なつき合いの第一歩といえよう。

大学に進学してからは、図書館にはむしろ入り浸っていた。「つまらない講義よりも図書館だ」と下宿の先輩に煽られたからというわけでもなかったが、狭い四畳半の下宿と比べると図書館ははるかに快適であった。夏はクーラーがきいているし、冬はうたた寝をしても風邪をひかない程度に暖かかった。しかも、気分転換のための雑誌まで各種そろえてある。しかし、まさにそうした中で図書館を利用する術を学んでいったように思う。

卒業論文を書いていた頃のことである。急に調べものがしなくなって閉館間際の図書館へ出掛けたら、理系の建物にまじって図書館にも明明と電燈がともっていた。館内では友人も何人か黙々と勉強していた。閉館後、暗い寒空の下を彼らと議論しながら帰ったが、

その時の澄みきった冬の夜空と心地よい充実感を今でも覚えている。その時だけは赤ちょうちんも誘蛾燈の役目を果たさなかった。私は、「図書館」というといつでもこの情景を想い起こす。いわば、私にとっての「図書館」の原風景にほかならない。大学には不夜城のごとき図書館がよく似合うのである。

大学院生の頃は、図書館はもっぱら文献探索や情報収集そして研究会の場となった。『新収洋書総合目録』や『学術雑誌総合目録』等にはずいぶんお世話になった。内外の図書館から依頼しておいた文献やコピーが送られてくるとそれだけで研究が進捗したような錯覚におちいったものだ。

図書館とのつき合いを振り返ってみた。もちろん、これも多くのつき合い方のひとつにすぎない。各人各様の多様なつき合い方があってしかるべきであり、またそれに対応できるだけの能力を図書館は潜在的にもっていると思う。要はそれをどう引き出すかである。しかし、図書館の多機能を体得し「私の」図書館とするには、図書館に棲息してそれに馴染むことから始めてみるのもひとつの手ではあろう。いずれにせよ、大学がまだ学問の場であり続ける限りは、大学において図書館の

担う機能は大きいし、また図書館の評価がその大学の評価に重大な影響を及ぼすといっても過言ではなからう。したがって、特色をもった魅力ある図書館作りが“University Identity”のためにも急務である。かつて、

主人公が「人類学博物館」に魅せられて南山大学に進学するというテレビドラマがあったが、やがては「図書館」に魅力を感じて南山大学を目指すような変わり者が出てきてもいいのではないかと。

『学生用希望図書申込票』を出して
図書館資料を充実させよう!!

〇〇という資料が無くて利用できない、研究できない、南山大学図書館にあってもよいような資料が無い時 etc. 『学生用希望図書申込票』に記入して、閲覧カウンターに提出して下さい。その際、なぜその資料が必要であるのかを購入希望理由欄に必ず記入して下さい。

〈学生用希望図書申込票〉		受付期 -	
申込年月日 平成 年 月 日			
学生番号	氏名		
住所 〒			
〒() -			
署名			
署名 [印次]			
出版者	出版年	価格	
購入希望理由			
<p>☆ 本欄部分を記入して下さい。 ☆ 記入するにあたって、自分で目録(カード・GEMMA)を調べ、所蔵の有無を確認して下さい。 ☆ 購入希望理由も必ず記入して下さい。 ☆ 購入の可否については差って掲示します。</p>			
※以下記入不要			
[所蔵の有無]	有 (請求番号)	無	
[購入の可否]	可・否		
[理由]			
[備考]			

図書館の目安箱!!
『あなたの声く意見書』を

図書館に関する意見なら何でもかまいません。「図書館に〇〇が、△△があったらなあ、××を購入して備え付けて欲しい etc. 」と思ったら『あなたの声く意見書』に記入して投書箱に入れて下さい。可能な限り皆さんの声に沿えるように検討し、その結果は10日以内に1階段横に掲示します。

あなたの声く意見書		ご自由に書いて下さい。	
学生番号	氏名	平成 年 月 日	
意見書			
図書館からの返答			



『あなたの声』が
図書館を変える!!

(閲覧係・日置俊雄)

前方一致は ' ? ' — GEMMAワンポイント検索 —

前方一致検索はどんなコンピューティング検索にも必ずある検索方法のひとつです。ワード、著者名、書名等の語句の前半のみを指定し、その後が続けて ' ? ' を入力することによって ' ? ' 以前が一致するあらゆるパターンが検索できます。ある語句の後半が思い出せない、外国語の語尾変化にとらわれない検索集合を作りたいといった場合に役立つ検索です。

```

GEMMA ----- < 目録検索 > ----- 89/09/14
                                           09:14:24

ワード : LOVE?
        *ワード関 : AND, OR, NOT, ( )

洋タイトル : ----- (4.3.2.2)
和タイトル : ----- (全角でブランクはつめて検索)
著者名 : -----
出版者 : -----
分類 : -----
出版年 : -----

項目間の関係 : 1 (1: AND 2: OR)
前回の結果 : 2 (1: 使う 2: 使わない)
    
```

『目録検索画面』の「ワード」の項目に【LOVE?】と入力し、

実行 を押します。

```

LIST NODE - 文献の内容表示はカーソルを移動後PF2です      DOC      1 OF 94
-----
1089146 愛 /レオン・モリス著 佐々木晴彦 [ほか] 訳 教文館 1989.4
1088865 愛とアロギア /C. S. ルーイス [著] 玉泉八州男訳 筑摩書房 1
1047304 Amants at filis /D. H. La
1015232 アメイタング・ラヴ /コラー・テンブーム著 川原英男訳 未來社 19
1014397 American economic a /by Rob
1088102 アメリカ小説における愛と死 /レスリー・A. フィードラー著 佐伯彰一
1030239 Arthur Schnitzler a /edited b
1077194 Being in love /William
1057506 The best loved poem,
1057507 The best loved poem,
1050345 The collected plays, vol. 1
1088333 A collection of rare books o
1088754 The complete lover /Angellea
1034864 Conserve /edited b
1004073 Covenant of love /by Richa
1079118 D. H. Lawrence, 'Wo /by Nell
1065811 D. H. Lawrence's Son /edited a
1054290 大草原の小さな家 6 /NBC NHK [19--]
1053299 Diff' rent strokes ,25
1040911 Early Habsburg Spai /A. W. Lo
                                           89/09/13 <DB00>

PF2= 詳細 PF3= 検索 PF7= P戻し PF8= P送り PF12= 終了
    
```

この検索によって、
【LOVE】はもちろん、
【LOVED】、【LOVELY】
【LOVER】といった
【LOVE】の語尾変化
した語をデータとして
もつ文献の集合をつく
ることができます。

この前方一致検索は、英字だけでなく、数字・漢字・かな（ただし、ひらがな単独は不可）のいずれの検索語でも用いることができます。

※前方一致検索の詳細については、『GEMMA検索パターン その①』を、ご覧ください。

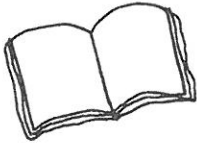
GEMMA データベース 状況 1989.9.1 現在

(単位：書誌レコード数)

種 別	図 書		雑 誌	
	洋 図 書	和 図 書	洋 雑 誌	和 雑 誌
内 訳	36,462	35,150	4,215	5,530
合 計	71,612		9,745	

(システム係・平松富美)

《 所蔵資料の紹介 》



『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』

人名編 全6冊， 件名編 全9冊

(請求番号 R/051/206) 1階抄録・索引コーナーに有り

大宅壮一文庫は、評論家、大宅壮一が残した東京にある雑誌図書館です。そこには明治から現在に至るまで、約7,500種類30万冊の雑誌を所蔵しており、その主要部分を記事索引化して集大成したのが、今回紹介する『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』です。

内容は、まさにマスコミによる世相ウォッチングであり、その時代の社会現象や事件を「政治」「経済」「農・漁業」「世界」「探検・移民」「天皇」「戦争」「右翼」「左翼」「平和運動」「労働問題」「公害」「災害」「犯罪・事件」「心中・自殺」「世相」「奇人変人」「世代」「おんな」「サラリーマン」「交通機関」「趣味・レジャー」「賭博」「スポーツ」「芸能・芸術」「マスコミ」「宗教・思想」「日本研究」「教育」「言語」「文学」「科学」「地方」といった独特な型に分類しています。そしてその主要な収録対象誌は、かつて皆さんが書店や喫茶店等でよく見かける週刊誌であります。例えば「海外留学」についてどんな記事が索引されているかを調べると、以下の通りです。

29 011-001
海外留学

0001	初期留学時代の米園(山川健次郎)	新日本	1911.10
		p.191	
0002	文部省留学生、ロンドンにて(河上崇)	太陽	1914.12.1
		p.129	
0003	文部省在外研究員の風紀(高田鉄一郎)	日本及日本人	1923.5.1
		p.33	
0004	国際的活眼を開け 渡米見学団の功績(中村嘉寿)	雄辯	1926.12
		p.154	
0005	幕府時代及び明治初年の洋行=留学生(渡辺修二郎)	新西時代	1927.4
		p.2	
0006	和蘭に於ける日本最初の留学生 赤松大三郎(幸田成友)	赤文藝春秋	1933.9
		p.142	

0007	我国最初の女子留学生(牧野伸顯)	婦人公論	1940.7
		p.90	
0008	遣魯留學生の渡魯(内藤達)	月刊ロシア	1945.1
0009	アメリカ留学生通信(永井道雄)	中央公論	1950.2
0010	座談 莫斯科共産大学卒業生座談会(吉田一/水沼徳/荒川実蔵)	文藝春秋	1950.4
0011	座談 ニュース座談会 アメリカでの学生生活 留学一年を終えて	週刊朝日	1950.7.30
		p.10	
0012	パリの画学生たち(田淵安)	藝術新潮	1952.1
0013	留學生の見たアメリカの学生生活(小田桐子)	ペン	1952.7.15
		p.52	
0014	渡米留學生の暮らしはこうだ サラ洗いやりくり	朝日新聞	1952.9.4
0015	留學生のメモから 苦悶するアメリカの若い良心	サンデー毎日	1953.8.30
		p.20	
0016	座談 渡米留學生の座談会 見て来たアメリカの裏・表	週刊読売	1953.9.20
		p.4	
0017	夫婦留学 夫婦でアメリカへ留学した人のアメリカ感(倉田保雄)	小説公園	1954.1
		p.186	
0018	夫婦留学 アパート生活(倉田保雄)	小説公園	1954.2
		p.104	
0019	アメリカの留學生	アサヒグラフ	1954.6.9
		p.20	
0020	米留學生の生活白書	サンデー毎日	1954.7.25
0021	余剰動産物の売上げで留學生を海を渡る余剰動産物 フルブライトーズの巻(倉田保雄)	小説公園	1955.4
		p.47	
0022	国際親善に役を担う 海外留學生、微笑の無任所大使	文化生活	1955.5
0023	日本人留學生が作った連担奨学金(ウイリアム・ゲイナー・ウエルズ)	リーダーズ・ダイジェスト	1955.7
		p.16	
0024	高校生アメリカ留学記	週刊サンケイ	1955.9.4
0025	留學生という人たち(馬場恭子)	婦人公論	1955.12
		p.114	

硬派から軟派まで、収録対象は幅広くなっていますので、皆さんの資料収集における強力な助っ人になると思います。是非一度、実際に手に取って調べてみて下さい。

なお、記載されている記事の原文はすべてコピー(有料)にて取り寄せることが可能ですので、参考カウンターまで問い合わせて下さい。



(参考係・村上篤太郎)



外部データベースってなに？

皆さん、外部データベースって、何のこと
だかわかりますか？

GEMMAのことではないですよ。もっと
すごいんだから。

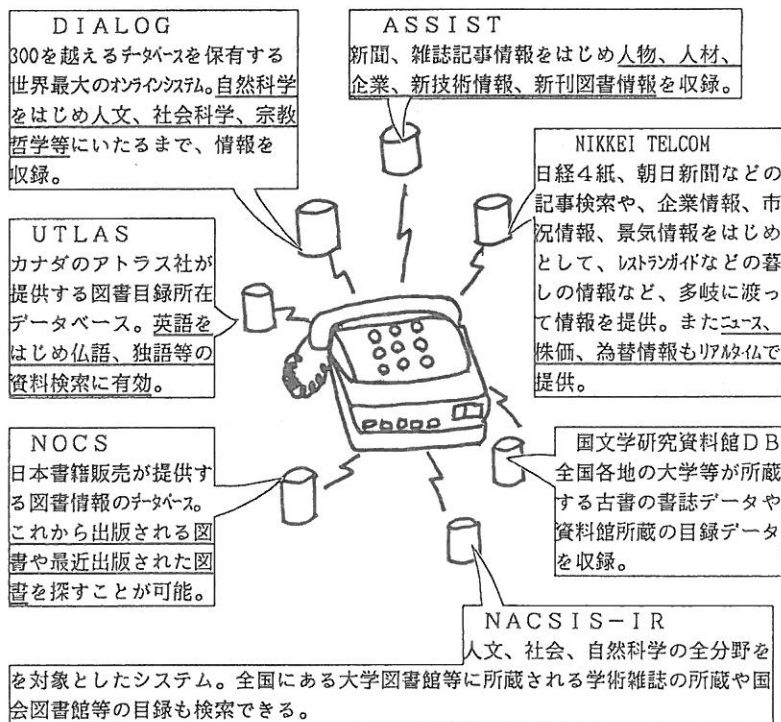
外部データベースとは、南山大学以外の公
共体や企業が作成した情報がコンピュータに
たくわえられているものであり、図書館では
現在数種類の外部データベースと公衆電話回
線で結んでオンラインで検索することが出来
ます。(④を参照して下さい)

利用に際しては、検索方法を全く知らなく
てもかまいません。どのような情報が欲しい
かを言っただけで、熟練した図書館

員がすべて代行検索いたしますので安心して
下さい。なお利用の際には費用がかかり、原
則としてその費用を利用者の皆さんに実費負
担していただきます。費用はデータベースに
よって異なりますので、詳細は申込み受付を
している1階参考カウンターに問い合わせ
て下さい。

このコーナーでは、皆さんにもっともっと
よく知っていただくために、順次スポットを
当てて今後連載していくつもりです。興味
がある方は、是非参考カウンターまで来て下
さい。必ず情報社会を痛感することでしょう。

④



(参考係・村上篤太郎)

蓬 左 文 庫



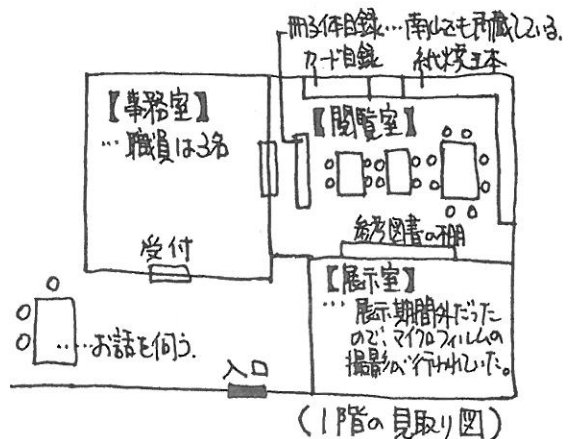
6月下旬、日赤のバス停から光ヶ丘行に乗り、途中、栄方面行の基幹バスに乗り継ぎ新出来下車。所要時間およそ40分程。蓬左文庫に伺った。

目的はもちろん第1回の文庫訪問の取材と見学を兼ねてである。蓬左文庫は徳川美術館、東図書館に隣接する一角にどちらかと言えばひっそりと立っていた。このあたりは葵公園と呼ばれ、周辺は閑静な住宅街である。なんとなくいかめしい白い建物の正面の大きな扉を押して中に入る。あのりっぱな美術館に較べると、中は驚くほど狭く、雑然としている。

閲覧室にはただただ同じ背表紙の複製本が並んでいるばかりである。それはともかくとして早速、蓬左文庫の歴史やその利用について蓬左文庫学芸員の桐原千文さんにお話を伺った。

●10万点の蔵書—駿河御譲本を中心として—
現在、蓬左文庫には約10万点の蔵書があり、そのうち8万点が公開の対象となっている。更にその6、7割が尾張藩の蔵書であったもので、江戸時代には単に名古屋城の「御文庫」

と呼ばれていたらしい。このため、尾張藩士であった先祖の系譜をたどりにやってくる利用者も多いという。もともとは、散逸した金沢文庫の書物・鮮明な印刷の朝鮮本等を収集した家康の駿河文庫の1万点余の蔵書が、御三家の息子達に分割され、尾張の義直が譲り受けたそのうちの3千点が「駿河御譲本」として現在まで伝えられ、蓬左文庫の蔵書の中核をなしているのである。蔵書の内容は日本・中国・朝鮮の典籍と尾張関係の史料を主とし、その種類は歴史・地誌・文学・芸能・哲学・宗教・政治…といったひろい範囲にわたっているという。（そのなかで最も著名な『河内本源氏物語』（写本としては最も古いもの）、『金沢文庫本統日本紀』が今秋、市政百周年記念事業の一環として名古屋市博物館で公開される予定だということであった。）これらの蔵書はいったんは東京へ移されたこともあったが、昭和25年からは名古屋市の所有となり、現在の地に移って、博物館の分館として維持されている。



●利用と保存

こうした歴史的背景と重要文化財7点を含む膨大な貴重書を持つこの蓬左文庫が抱えている大きな問題が利用と保存をいかにバランスよく維持するかである。資料は文庫の2、3階にある書庫に収められており、空調等の設備によって、良い状態で保存されている。現在原本を傷めないために、利用頻度の高いもの、重要な資料から徐々にマイクロフィルム化が進められており、更にそのフィルムから焼き付ける紙焼き本が作られている。(伺った当日もちょうど使用されていない展示室でマイクロフィルムの撮影が行われていた。)利用者は目録から「名古屋市博物館熟覧票」の用紙に資料の番号を記入して窓口に提出し、紙焼き本があればそれを閲覧室で見ることができる。ただし、紙焼き本が無い場合やどうしても色の付いた絵をそのまま見たいとかいった研究上の理由があれば原本を見ることが出来る。しかしその場合も先の駿河御譲本等貴重な資料であれば更に申請が必要とのことであった。又、複写サービスについては①マイクロフィルムからの複写(業者委託のため2、3週間必要)②紙焼き本からの複写(枚数が少なければその場で可)③原本からの複写(①、②で代用が効かず、必要と認められた場合に限って)といった段階を追って行われている。なおマイクロフィルム、紙焼き本、原本のどの資料媒体についても外への貸出は一切行われていない。

こうしてみると、随分厳しい利用条件のように思える。我々が密かに期待していた書庫見学も認められなかった。しかし、保存という観点に目を向けると、これもやむをえないことかもしれない。むしろこうした貴重な資料が身近にあり何らかの形で目にすることができる環境に感謝すべきかもしれない。「利

用されない資料は何の意味もありませんからね。」という学芸員の方のお話に対し、現在細々と続けられているというマイクロ化等の作業に更なる予算や人員の割当てが認められることを願いたい。

最後にこの後の展示の予定と利用案内を皆さんにお知らせして、この第1回の文庫訪問記を締め括ろうと思う。

「～書物のデザイン～

(9/30～11/30) 表紙の意匠

(1/13～3/18) 和歌と物語の世界」

蓬左文庫展示室において

開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	毎月月曜・第3金曜日・祝日 年末年始(12/28～1/4)
閲覧	館内に限り、館外貸出はいたしません。
(閲覧料)	普通図書 無料 重要図書 有料(1部350円)
展示	随時蔵書の一部を展示 (特別展を除き入場無料)
複写サービス	普通図書のうち保存上影響のないものについて複写サービスを行います。その他、マイクロフィルムの利用、写真撮影の申請を受付けますので、ご来庫の上ご相談下さい。

名古屋市蓬左文庫 ☎(052) 935-2173
〒461 名古屋市東区徳川町1001番地
(蓬左文庫利用案内より抜粋)

(編集委員・平松富美, 山本登母)

《 ライブラリーカレンダー 》

南山大学図書館開館予定表

平成元年10月～12月

： 予定表内の数字は、閉館時間。
開館時間は、9:00
赤： 休館日

10 月		11 月		12 月	
1 (日)		1 (水)	18:30 ★テ経	1 (金)	18:30
2 (月)	18:30	2 (木)	16:30	2 (土)	15:30 ★
3 (火)		3 (金)	文化の日	3 (日)	
4 (水)	★文	4 (土)	12:00 ★	4 (月)	18:30
5 (木)		5 (日)		5 (火)	
6 (金)	18:30	6 (月)	18:30	6 (水)	★G
7 (土)	15:30 ★	7 (火)		7 (木)	
8 (日)		8 (水)	★G	8 (金)	18:30
9 (月)	18:30	9 (木)		9 (土)	15:30 ★
10 (火)	体育の日	10 (金)	18:30	10 (日)	
11 (水)	18:30 ★G	11 (土)	15:30 ★	11 (月)	18:30
12 (木)		12 (日)		12 (火)	
13 (金)	18:30	13 (月)	18:30	13 (水)	★
14 (土)	15:30 ★	14 (火)		14 (木)	
15 (日)		15 (水)	★文	15 (金)	18:30
16 (月)	18:30	16 (木)		16 (土)	15:30 ★
17 (火)		17 (金)	18:30	17 (日)	
18 (水)	★テ営	18 (土)	15:30 ★	18 (月)	18:30
19 (木)		19 (日)		19 (火)	
20 (金)	18:30	20 (月)	18:30	20 (水)	★G上
21 (土)	15:30 ★	21 (火)		21 (木)	18:30
22 (日)		22 (水)	18:30 ★G上	22 (金)	16:00
23 (月)	18:30	23 (木)	勤労感謝の日	23 (土)	天皇誕生日
24 (火)		24 (金)	18:30	24 (日)	
25 (水)	★G上	25 (土)	15:30 ★	25 (月)	クリスマス
26 (木)		26 (日)		26 (火)	16:30
27 (金)	18:30	27 (月)	18:30	27 (水)	16:30 ★
28 (土)	15:30 ★	28 (火)		28 (木)	冬期休館
29 (日)		29 (水)	★文	29 (金)	平成2年
30 (月)	18:30	30 (木)	18:30	30 (土)	1月7日まで
31 (火)	18:30			31 (日)	

④ ★ 3、4年次生書庫内資料閲覧日 (水=13:00~16:30、土=9:00~11:30)
〔講習会〕 文：文献探索、G：GEMMA (初級)、G上：GEMMA (上級)
テ営：日経テレコン (経営学科生)、テ経：日経テレコン (経済学科生)

《 編集後記 》



館報編集委員として、一同初めての経験で
したので、不慣れな点が多く、苦労しました。
こうして、無事第3号を発行することができ、
ホッとしています。

(村上、浜口、平松、山本)

南山大学図書館報 No. 3

1989.10.2発行

南山大学図書館

名古屋市昭和区山里町18

TEL.052(832)3707